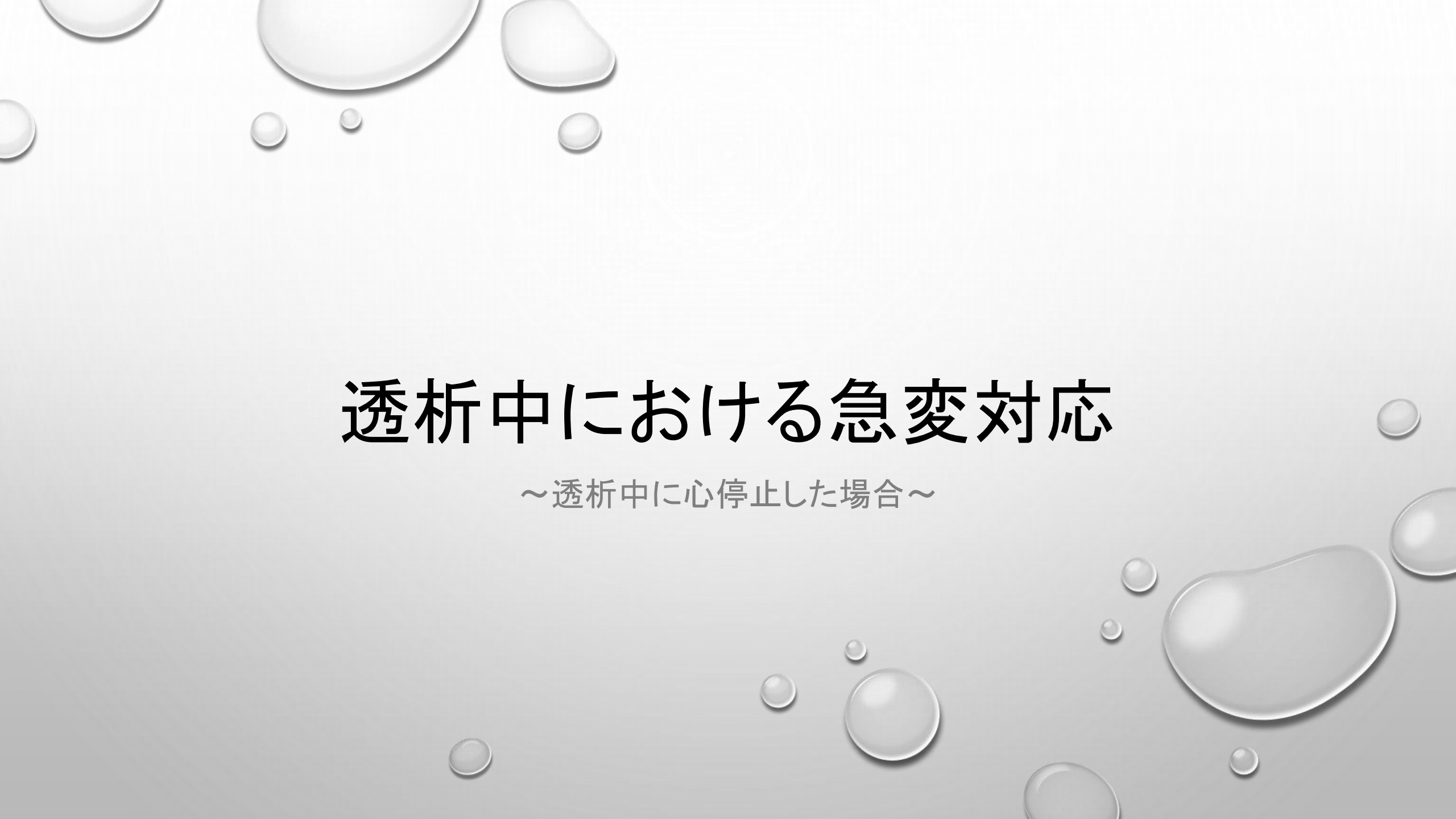


The background is a light gray gradient. It features several realistic water droplets of various sizes, some with highlights and shadows, scattered across the frame. In the upper center, there is a faint, circular, textured pattern that resembles a ripple or a lens flare.

透析中における急変対応

～透析中に心停止した場合～

透析中に起こる急変
といってもいろいろある

徐脈

心静止

アナフィラキシーショック

呼吸停止
(呼吸抑制)

脳血管障害

消化管出血

心室細動(Vf)

(血圧低下)
(血圧低下によるショック状態)

etc...

様子がおかしいと思ったら

顔色？ 意識？ 脈拍？ 呼吸状態？
血液の色？ 血圧？ V圧？



何が起きているのか状況を把握する

心肺蘇生法(CPR)をしよう

CardioPulmonaryResuscitation

- ①返血・補液・下肢up・Dr上申・
モニタ装着・急変時対応確認・
スタッフ人数確保
- ②DC(AED)の使用・胸骨圧迫・
家族へ連絡
- ③酸素投与・アンビューバック
- ④昇圧剤など投与・挿管

CPR中の役割分担

返血・補液
機械操作する人

Dr上申する人
Dr介助

胸骨圧迫する人

家族などの外部へ
連絡する人

アンビューバック
を揉む人

薬剤・機材の準備
をする人

次に
胸骨圧迫する人

症状・処置・数値・時間な
どを記録する人
タイムキーパー

etc...

～忘れちゃいけない大切なこと～

- CPR中はスタッフ間で協力し、役割を分担して効率よく動くことが大切です。
- 心に余裕がある人は常に状況確認をする。(血圧・呼吸・波形・意識など)
- 役割が多いため十分なスタッフ数を確保する。(少なすぎず多すぎず)
- 一人の時はその場を離れないようにする。
- 胸骨圧迫は率先して代わってあげよう
- スクリーンやカーテンでベッドを囲い、プライバシーを保護する。
- その他状況次第で柔軟に動く、何が必要かを予測して動く。

さいごに

透析中に起こりうる最悪の事態を想定し、
それに迅速に対応できるように備えてこそ、
日々の何気ない透析を安心して施行出来
ているのではないか。